

WASEDA SAGA



早稲田大学系属
早稲田佐賀中学校
早稲田佐賀高等学校

〒847-0016 佐賀県唐津市東城内7-1
TEL 0955-58-9000(代表)
E-mail contact@wasedasaga.jp
<https://www.wasedasaga.jp>

附設寮 八太郎館

〒847-0056 佐賀県唐津市坊主町433-5
TEL 0955-80-7110
FAX 0955-80-7111



←早稲田佐賀
ウェブサイト



←早稲田佐賀
YouTube
チャンネル



早稲田大学

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1
<https://www.waseda.jp>



2025
Guide Book

未
来
を
切
り
拓
け



未来を切り拓け

新しいものが生まれ、新しい生活が生まれ、
進歩し続ける世界。

今、世界が求めるのは、
たくましい知性としなやかな感性をもち、世界の未来を切り拓く人材。

WASEDA SAGAは開校当初よりグローバルリーダーの育成に力を入れている。

世界で通用する学力と人間性を全ての学生が習得できるカリキュラムと
挑戦を後押しするWASEDAのネットワーク。

君のもつ、知識、経験、アイデア、勇気、そして熱い志。

全てを力に変えて、未来を切り拓け。

次世代のグローバルリーダーは君なんだ。

日本を超える一步を、ここから。 特別な環境がつくる、 世界への道しるべ。

2010年「九州のWASEDA」として早稲田大学系属 早稲田佐賀中学校・高等学校が九州・唐津の地に開校。
「学問の独立」「進取の精神」「地球市民の育成」を建学の精神とし、開校以来、日本という枠を超えた、「確かな学力と豊かな人間性を兼ね備えたグローバルリーダー」の育成を目指してきました。

校舎そばには、歴史ある唐津城、青々と広がる海と空、各地から集まる生徒と教師、そして自発的なチャレンジを後押しするWASEDAのネットワーク。一人ひとりが世界へとはばたくための環境が揃ったこの学び舎で、生徒たちは仲間と共に日々切磋琢磨し、未来・世界への道を歩んでいます。



学校法人
大隈記念早稲田佐賀学園
理事長
兼 早稲田佐賀中学校・
高等学校 校長

渡邊 義浩

北海道教育大学助教授、大東文化大学教授を経て、2013年より早稲田大学文学学術院教授。2016年から早稲田大学文学部教務主任を歴任し、現在は早稲田大学常任理事。2018年11月より本学園理事長、2023年4月より校長に就任。

さまざまな分野で国内外を問わず リーダーシップを発揮できる素養を育む

佐賀県は早稲田大学の創設者である大隈重信の生誕の地であり、唐津市は天野為之の生誕地でもあります。天野為之は早稲田佐賀中学校・高等学校の校舎が建つ位置にあった唐津藩の英学校「耐恒寮」で学び、政治家、経済学者として活躍し早稲田大学第2代学長に就任するなど早稲田大学や本学園と深いつながりがあります。またこの地は幕末から明治にかけて日本の政治・産業の発展に向けて大きく貢献した人材を送り出した地でもあります。早稲田佐賀中学校・高等学校は2010年4月に開校し、10周年を経て着実に歴史を刻み成長・発展し続けています。今年度はこれまでの学園を振り返り、更なる発展に向けて改善・改革を進めていくとともに唐津市をはじめ地域とのつながりを大事にした教育活動をしてまいります。佐賀県、福岡県や九州、全国から集う生徒が切磋琢磨しながら唐津の地で学び、先人たちに倣って、将来さまざまな分野で国内外を問わずリーダーシップを発揮できる素養を本学園で育んでいけるように学園を運営してまいります。

建学の精神

学問の独立

現在、そして未来のあらゆる課題に挑戦できる
基礎的な学力と実践的な応用力を育成します。

進取の精神

さまざまな事象を積極的に取り入れ、
そこから新しいものを創造する精神を育成します。

地球市民の育成

日本、そして世界の将来に貢献する
人間性豊かなリーダーとなる人材を育成します。

INDEX

早稲田佐賀について	02	卒業生メッセージ	10	国際教育	16	周辺環境	28
学校紹介動画	04	制服紹介	11	部活動	17	アクセス	29
早稲田大学について	05	生徒会長メッセージ	12	年間行事	19	入試情報	30
中高一貫教育と進路指導	07	カリキュラム	13	在校生メッセージ	21	学費等情報・学校説明会	31
合格実績	09	探究学習	15	附設寮について	23		



Promo Clip
[学校紹介動画]



早稲田大学創設者 大隈重信の原点は 九州・佐賀にあり

グローバル化が進展する21世紀において、日本人も地球社会の一員として国際的な舞台でのさまざまな役割と責任が期待されるようになりました。教育の分野においても、高度な専門的知識と幅広い教養を備え、自主的な判断ができる国際人の育成が不可欠となっています。そこで早稲田大学は、創設者・大隈重信の「人生125歳説」に基づき、創立125周年を迎えた2007年から新たな「第二の建学」に踏み出し、日本という枠を超えた「グローバルリーダー」の育成を目標に掲げました。大隈重信の生誕の地である佐賀県に、2010年4月「早稲田佐賀中学校・高等学校」を開校いたしました。

青年期の大隈重信は、キリスト教を伝えながら日本の若者たちに英語や西洋の学問を教えていたフルベッキという宣教師と長崎で出会い大きな影響を受けました。大隈はフルベッキの塾で、自由、人権、立憲制議会政治などを学び、その英学の知識を広めるために、長崎にフルベッキを校長先生として「致遠館」を開きました。致遠館には佐賀藩出身者だけでなく全国から多くの優秀な若者が集まり、あらゆる分野で日本を牽引する多くの人材を輩出しました。

早稲田佐賀中学校・高等学校には、大隈の幼名にちなんで八太郎館と名づけられた附設寮があります。この八太郎館には地元九州はもとより全国各地から、さまざまなバックグラウンド、多様な価値観を持った生徒が入寮し、お互いに刺激し合い切磋琢磨する中で豊かな人間性を形成しています。

現在、日本は、社会的にも経済的にも、大きな曲がり角にさしかかっています。さらに日本だけでなく、地球社会全体も温暖化・食糧問題・人口問題など、正解のないもしくは正解が一つではない多くの難問を抱えています。そうした中で、誰もが人間としての尊厳を保ちながら幸福に生きていける社会を作り上げていくという崇高な使命を果たすことができるのは、豊かな人間性と進取の精神を兼ね備えた若者たちをおいてほかにはありません。

早稲田大学は「世界でかがやく大学」を標榜し、その実現に向け、学生諸君には、「たくましい知性」と「しなやかな感性」を身に付けてほしいと伝えています。大学入試の問題には必ず答えがありますが、上述の通り、今後の日本や世界が直面する問題には正しい一つの答えがあるとは限りませんし、そもそも何が問題なのか分からない問題すらあります。そうした難しい問題に立ち向かうことができるのが、「たくましい知性」です。問題の解決に向けて自分なりの解決策を仮説として立て、その妥当性を考察して検証する。課題を見つけて、また考える。そのような姿勢を身に付けてほしいと考えています。

「しなやかな感性」とは、多様性を認めることと即ちいいでしょう。早稲田大学では、性別、国籍、宗教や信条などに関係なく、誰もが平等に教え学んでいます。異なる価値観を持った人と交わる中で、多様性を考え、認めて受け入れてほしいと思います。

早稲田大学に進学するもの、医学の道に進むものなど多様な人材を早稲田佐賀中学校・高等学校から送り出して欲しいと思っています。「たくましい知性」と「しなやかな感性」はどのような道に進んでもこれからの時代に必要なものです。是非、そのベースとなるしっかりとした素地を唐津の地で作ってください。

それぞれの進学先で学生生活を経た後に、幅広い教養と深い学識、熱い情熱と冷静な判断力・批判力、そして何よりも温かい人間性を備えた素晴らしい地球市民として、世界の至る所で、また、経済、政治、マスコミ、学問、芸術、スポーツなど幅広い分野で、大いに活躍してくれるものと確信しています。



早稲田大学 総長
田中 愛治

1975年早稲田大学政治経済学部卒業。
1985年The Ohio State University大学院政治学研究科博士課程を修了し、Ph.D.(政治学)取得。東洋英和女学院大学助教授、青山学院大学教授、本学政治経済学術院教授等を経て現職。2006年から早稲田大学教務部長、理事(教務部門総括)、グローバルエデュケーションセンター所長を歴任。文部科学省中央教育審議会委員、日本学術振興会委員等を多数務める。
2014年7月～2016年7月 International Political Science Association会長。

早稲田大学について

13の学部

- 政治経済学部
- 法学部
- 文化構想学部
- 文学部
- 教育学部
- 商学部
- 基幹理工学部
- 創造理工学部
- 先進理工学部
- 社会科学部
- 人間科学部
- スポーツ科学部
- 国際教養学部



学部について
詳しくはこちら



大学院

20の研究科



附属・系属校

7校



海外協定校

91の国や地域 848の大学や学術機関



奨学金

250種類 81億円



学生数

47,266人



留学生

8,300人

未来、そして世界を見ていた大隈重信

早稲田大学創設者である大隈重信は、明治の激動期に持ち前の先見性と構想力、そして実行力で日本の近代化を牽引しました。時代に新しい価値を生み出し続けたその志と信念は今に続いています。

現代の暮らしにつながる改革を次々と

総理大臣をはじめ数々の要職を務めた政治家であり、早稲田大学の創設者でもある大隈重信。実はそれだけでなく、現代の暮らしにつながるさまざまな功績を残しています。

2020年には、東京都港区で日本初の鉄道遺構「高輪築堤」が発見されたことで、日本の鉄道開通に尽力した一人として再注目。「陸蒸気(おかじょうき)を海に通せ」という大隈の英断があったからこそ、堤防を築いて線路を通すことができたのです。

明治政府が貨幣制度の改革に乗り出した際には、その中心メンバーとなって「円」の誕生に大きく関与。近代日本経済の父と呼ばれた渋沢栄一を大蔵省の役人に導いたのも大隈でした。他にも、欧米の暦と合わせるために太陰暦から太陽暦に改暦し、明治41年にはアメリカ大リーグ選抜チームと早稲田大学野球部との試合で投手役を務め、日本初の始球式を行いました。

学問の独立で多様な人材を育成

新しい国づくりでは近代的な教育が必要だと考え、大隈は明治15年に早稲田大学の前身である東京専門学校を設立。「学問の独立」を謳い、政治家である自分の存在が学校経営に支障をきたさないよう、創立15周年の祝典まで公式行事には一切参加しませんでした。

早稲田大学のみならず民間教育に力を注ぎ、同志社大学の設立では寄付金を出して協力し、日本女子大学の創立・経営を支援するなど女子教育にも熱心でした。政治家としての枠にとどまらず、さまざまな教育・文化事業に取り組むことで多様な人材を育てたのです。

生誕地・佐賀で学ぶ誇りを胸に

明治政府の中核を担う人物の一人として、リーダーシップを発揮しつづけてきた大隈。青年期を過ごしたのは、日本の近代化をリードした幕末維新期の佐賀です。その頃から世界を見ており、公用語としての英語の重要性を認識し、藩に進言して英学塾を創設しています。早稲田大学の校風である「進取の精神」は、大隈の生き様そのものであり、現代に受け継がれる早稲田スピリットといえるでしょう。演説の名手としても知られる大隈は、若者に向けて数々のメッセージを残しています。東京専門学校の卒業式における演説の一説では、「所で此複雑なる社会の大洋に於て航海の羅針盤は何であるか、学問だ」と述べています。学問を「航海の羅針盤」とすることで、失敗にくじけず人生に打ち勝ってほしいというメッセージは、今の私たちの心にも響きます。

大隈重信の原点である九州・佐賀の地で学ぶ誇りを胸に、グローバルな視野を持つ人間力をここ早稲田佐賀で磨いていきましょう。

耐恒寮から時を超えて受け継がれる学びの絆

佐賀は早稲田大学の創設者大隈重信の生誕の地として知られていますが、九州・唐津と早稲田大学を結ぶもうひとつの物語があります。明治初年、唐津藩は新しい時代を担う人材を育成するため唐津城内に耐恒寮と呼ばれる唐津藩の英学塾を開校。ここに英語教師として招かれたのが、アメリカでの困難を経て、やがて日銀総裁や内閣総理大臣を務めるなど、その波瀾万丈の人生と魅力あふれる人間性で今なお語り継がれる高橋是清です。そして、耐恒寮で学んだ生徒のひとりが高橋早稲田大学第二代会長、天野為之です。天野は優れた経済学者であり、また教育者として創成期の早稲田大学の礎を築きました。天野はこの間に、早稲田実業学校を開校し校長も務めました。現在の早稲田佐賀中学校・高等学校の体育館の位置にあった耐恒寮からは、天野為之をはじめ、辰野金吾(建築家)や吉原政道(鉱業家)、掛下重次郎(大審院判事)など、後の日本をリードする若者たちが数多く巣立っていきました。玄界灘のやさしい潮風に吹かれながら、若者たちは昔も今もここで学び、夢を描き、そして世界へと大きく羽ばたいていきます。



たかはし これきよ
高橋 是清



あまの ためゆき
天野 為之





早い段階での基礎力習得。 応用力で次のステージへ。

中学校では基礎学力を重視し、その上で、思考力や応用力を育成します。総合的な学習の時間における地域学習や職業講演会等のキャリア教育も充実させています。また道徳の時間を通して、豊かで思いやりのある心を育てるため、さまざまな資料を活用して心に響く授業を展開しています。

教育方針 自発的な学習と基本的な生活習慣の習得

1 主体的に学ぶ学習姿勢の習得

本校では、学習の基本である「自ら気づくこと」「興味関心をもつこと」「自主的な学習の習慣化」を大切に、それが誰にでも萌芽するよう、一人ひとりを導きます。

2 知・徳・体の完成

健全な心身で努力をし、大きく夢を抱くために、知・徳・体をバランス良く身につけていきます。そして豊かな人間性を持ち、健全な心身で努力し、夢を大きく抱ける生徒を育成します。

3 大学に直結する中高一貫教育の展開

一人ひとりの適性を正しく捉え、ハイレベルな授業を実施。早稲田大学のもつ人的・知的財産も活用しながらより高い学力の育成を目指します。

生徒同士が互いに高め合える環境。

高校1年生では中学校からの入学生と高校からの入学生がお互いに高め合うことができる授業を展開。高校からの入学生には十分な学習時間を確保し、本校のカリキュラムにスムーズに移行できるようバックアップを行っています。高校2年生では文系・理系に分かれ、進路実現に向けてより学習を深めていきます。進度を重視した授業によって、高校3年生より本格的に入試問題や大学での学びの基礎となる学問に対応した学習へとシフトします。

医療人マインドを育む Waseda Saga Medical WorkShop

本校では2018年度から医学部・薬学部・歯学部など医療系を目指す生徒を対象としたWaseda Saga Medical WorkShopを開催し、机上では得られない学びの機会を広げ、現場で働く人々の声を聴き、医療現場に身を置く責任や心構え、厳しさを体感することで、人間の命に向き合う覚悟を持ってもらいたいとの願いのもとワークショップを開催してきました。



学問を知り、将来を考える 大学模擬講義

自分の個性・能力・適性に合致する職業と、その道となり得る大学を選定する能力を育成することを目的とし、大学で学ぶテーマに触れることで知的好奇心を喚起し、職業意識や専門性などの意識啓発を行うための「大学模擬講義」を実施しています。早稲田大学だけでなく、様々な大学の先生方を本校に招聘し、大学で学ぶテーマに触れることでしっかりと進路目的を確立させていきます。



ニュージーランド国立大学初! オタゴ大学への指定校推薦入試制度を導入

ニュージーランドの国立大学としては初の試みで、対象となる国内高校の3校のうち早稲田佐賀高等学校が選ばれました。本制度は、単なる海外進出ではなく、オタゴ大学で学士号を取得することを目的としたプログラムです。1年目は英語と大学学習の基礎を習得し、2年目から4年目で専門分野の学士号取得を目指します。2025年4月入学に向けて学内募集を開始し、グローバルな舞台で学びを深めたい生徒の進路選択の幅が広がりました。

基礎力養成期

中1

1年間の指導を通じて、早稲田佐賀での生活に必要なルールとお互いを認め合う気持ちを学びます。学習面では、授業の受け方や家庭学習(寮学習)の習慣を身につけ、基礎学力の定着をはかります。

中2

日々の授業を大切にすることを再確認し、培った基礎学力を応用させる力を身につけます。授業や総合学習を通じて視野を広げ、自分と社会の関わりや自分の将来について考える姿勢を身につけます。

応用力養成期

中3

中学校最上級生としての自覚を持ち、クラブや委員会活動、学校行事等でリーダーシップを発揮する立場を経験します。学習面では、一部の教科が高校内容に入り、大学入試を意識した授業になります。

実践力充実期

高1

進路目標を明確化し、進路実現の素地をつくります。国語・英語・数学を中心に基礎的な学力を育成すると共に全ての教科や科目に対し、深い興味や関心を持てる授業を展開します。

高2

早稲田大学をはじめとする難関大学や医・歯・薬系大学・学部進路に必要な幅広い学力と思考力を育成します。学部説明会や模擬講義などでさらなる進路意識を高めます。

高3

卒業後の進路目標実現を目指し、更なる学力養成のための演習授業や特別補習、外部講師を招いた小論文や共通テスト対策講座等を行います。

早稲田大学
推薦枠最大138名
国公立大学、私立大学、
医・歯・薬系大学

2025年度高校入学生から
推薦枠最大144名

Messages From Graduates

早稲田大学学校推薦型選抜試験の定員

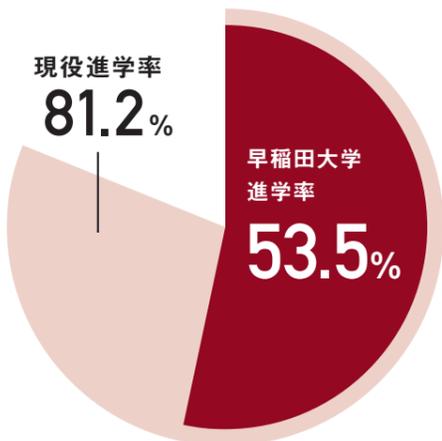
2024年度高校3年生より推薦枠120名から138名へ拡大!

2027年度高校3年生より、1学年定員240名のうち、144名(最大60%)の生徒が早稲田大学へ推薦入学することができます。

推薦条件を満たし、学力確認テストや各学部での面接等を経て、早稲田大学へ進学することができます。



○ 現役生の進学先



(卒業生202名中164名)

○ 2023年度の卒業生(202名)の進学先

卒業生の約5割以上は、現役で早稲田大学へ進学しています。

現役大学進学	164名	早稲田大学 学校推薦型選抜	106名
九州大学	3名	政治経済学部	8名
長崎大学(医2)	2名	法学部	7名
鹿児島大学	1名	教育学部	10名
横浜市立大学(医)	1名	商学部	10名
東京理科大学	2名	社会科学部	9名
上智大学	1名	国際教養学部	10名
明治大学	2名	文化構想学部	10名
立教大学	2名	文学部	10名
中央大学	1名	基幹理工学部	5名
法政大学	1名	創造理工学部	5名
学習院大学	1名	先進理工学部	2名
国際基督教大学	1名	人間科学部	10名
関西学院大学	2名	スポーツ科学部	10名
同志社大学	1名		
立命館大学	2名		
Taylor's University	1名		
その他大学	32名		



大学入試合格状況

※国公立大、私立大、医学科合格状況は早稲田大学(推薦)の合格者を除いた生徒の実績です。

早稲田大学(推薦)

	2024	2023	2022
政治経済学部	8	7	10
法学部	7	6	7
教育学部	10	9	10
商学部	10	9	10
社会科学部	9	8	10
国際教養学部	10	7	9
文化構想学部	10	10	10
文学部	10	10	10
基幹理工学部	5	4	8
創造理工学部	5	1	2
先進理工学部	2	1	4
人間科学部	10	10	10
スポーツ科学部	10	10	10
計	106	92	110

国公立大学

	2024	2023	2022
九州大学	4(1)	1	4(2)
九州工業大学	1(1)	1	1
福岡教育大学		2	
佐賀大学	3(3)	2	5(2)
長崎大学	2		1
熊本大学	1(1)	2	1(1)
大分大学		1	
宮崎大学			2(1)
鹿児島大学	2(1)	1	2(2)
琉球大学		1	
九州歯科大学			1
長崎県立大学		1	
鳴門教育大学		1	
香川大学		1(1)	1(1)
北海道大学			1
茨城大学	1(1)	1	1
筑波大学			1
宇都宮大学		1	
東京海洋大学			1
東京大学		1	1
東京外国語大学	1		
一橋大学			2(1)
大阪大学			1
神戸大学	1(1)		
岡山大学		1	
高崎経済大学		1	
横浜市立大学	1		
尾道市立大学			1
下関市立大学		1(1)	
防衛医科大学校		4	
防衛医大校	1(1)	1	2(1)
計	18(10)	25(2)	29(11)

※()は、内数で過年度生

医学科(左記国公立大合格者の内数)

	2024	2023	2022
九州大学		1	1(1)
佐賀大学	1(1)	1	2
長崎大学	2		
熊本大学		1	1(1)
大分大学			1
岩手医科大学		1(1)	
国際医療福祉大学		1	1(1)
自治医科大学			1(1)
杏林大学		1(1)	
愛知医科大学	1(1)	1(1)	
藤田医科大学		1(1)	
近畿大学		1(1)	
川崎医科大学		1(1)	
久留米大学	1		2(1)
産業医科大学			1
福岡大学	4(3)	1(1)	1(1)
防衛医科大学校		3	
計	10(5)	16(8)	11(7)

※()は、内数で過年度生

	2024	2023	2022
卒業生数	202	215	229
早稲田大学推薦者数	106	92	110
一般受験生数	96	123	119

私立大学

	2024	2023	2022
青山学院大学	5(2)	6(2)	6(4)
慶應義塾大学	2(2)	5(4)	2(1)
国際基督教大学	2	1	2(1)
上智大学	4(2)	2(1)	
中央大学	12(8)	4	7(4)
東京理科大学	3	5	4
法政大学	10(7)	3(2)	3(2)
明治大学	3	9(2)	3(2)
立教大学	5	6	2
早稲田大学(一般)	5(2)	11(4)	3(2)
同志社大学	6(4)	2(1)	1
立命館大学	8(5)	19(14)	15(6)
関西大学	3(2)	7(2)	3(2)
関西学院大学	7(3)	5(2)	6(3)
西南学院大学	5	15(6)	5(1)
福岡大学	32(15)	29(12)	12(6)
計(その他大学含む)	252(100)	231(77)	235(77)

※()は、内数で過年度生 ※私立大計は、早稲田大学(推薦)を除いた人数

自然豊かな地で出会う最高の仲間たち

私にとって早稲田佐賀高校での3年間はかけがえのないものとなりました。寮という特殊な環境に初めは不安や困惑もありましたが、今振り返ってみると勉強に集中できるのはもちろんのこと、日々の生活を通じて自立することができ、最高の仲間たちと出会うことができました。早稲田佐賀高校には、全国から様々な価値観を持つ人が集まってきて良い刺激を受けて生活することができます。また、体育祭や文化祭などの行事は先生方を含め全員で本気で取り組むというのが早稲田佐賀高校の特色で、いわゆる青春を感じることができます。最後に、自然豊かな唐津の地で過ごす3年間または6年間はみなさんの人生の大きな糧になるはずです。ぜひ、早稲田佐賀高校で充実した学生生活を送ってください。



早稲田大学
商学部
石関 樟太朗さん
(2023年度卒業)
[高校入学生]

早稲田佐賀での充実した学校生活

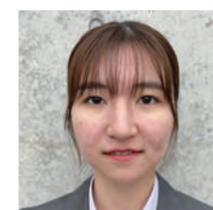
私が早稲田佐賀で過ごした3年間は勉強や部活動に打ち込み、充実したものでした。入学当初は、高入生かつ自宅生ということもあり、友達ができるか不安でしたが、高校生活を送る中で最高の友人がたくさんできました。学業においては、たくさんの先生方から個々の志望や学力に合わせた手厚いサポートを受け、精一杯勉強に励むことができました。その結果、学校のカリキュラムと自主学习で志望校に合格することができました。部活動では、3年時に剣道部男子副部長を務め、団体戦県ベスト8に入ることができました。3年間の部活動では、技術、体力の向上はもちろん、礼儀や組織を率いる力などたくさん学ぶことができました。私は、早稲田佐賀で最高の3年間を送ることができました。皆さんも是非早稲田佐賀で充実した学校生活を送ってください。



九州大学
薬学部創薬科学科
中尾 玄さん
(2023年度卒業)
[高校入学生]

全力で挑戦できる場所

私が早稲田佐賀で過ごした6年間は文武共にとても充実したものでした。私は弓道部に所属し、日々切磋琢磨しあえる仲間と共にインターハイ出場という貴重な経験をする事が出来ました。学習面においては、先生方が進路に合わせて勉強法や教材を提案していただき、勉強や進路で悩んでいた時期にも親身になって相談に乗っていただきました。そのおかげで、私にとって最高の環境のもとで受験に挑むことが出来ました。早稲田佐賀は勉強でも部活動でも、妥協することなく自分のやりたいことに全力で向き合える場所だと思います。皆さんも早稲田佐賀で色々なことに挑戦し、充実した学校生活を送ってください。



横浜市立大学
医学部医学科
田島 史奈さん
(2023年度卒業)
[中学校入学生]

文武両道を追求した3年間

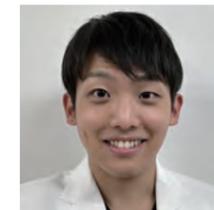
私は高校4期生から入学し、野球部に所属、3年生では副将を務めました。寮生だった私は朝練をして7限の授業を受け練習、帰寮して食事・お風呂を済ませたあと学習して就寝という毎日を過ごし、ひたすら文武両道を追求した3年間でした。その中でメリハリのある行動が大切であることを学び、そしてそれは社会人となった今でも大いに活かしています。また、その3年間で共に過ごした仲間といふか戦友はかけがえのない存在です。卒業した今でも交流を深めています。是非皆さんも早稲田佐賀で文武両道に挑戦し、仲間との絆を深めてみてはいかがでしょうか。



山口大学 理学部
数理科学科 卒業
大阪大学大学院
情報科学研究科
情報基礎数学選考 卒業
アイテック阪急阪神株式会社
渡壁 早十さん
(2015年度卒業)
[高校入学生]

文武両道で夢を叶えられる環境

私は2010年に中学一年生として入学し、部活動は6年間テニス部に所属していました。私は小さい頃から医師を目指しており、文武両道を目標に勉強、部活に打ち込みました。素晴らしい先生方や友人にも恵まれ、切磋琢磨しながら勉強や部活動を続け、医学部に合格することができました。大学入学後も医師になるため、医師国家試験合格を目指し勉強を続け、2023年度から医師として働いています。これからも医師として医療を提供しながら、まだまだ私に足りないものや、日々進歩する医学の知識を習得していく必要があり、体力が必要な職業だと痛感しております。だからこそ中高の6年間、文武両道を目標に一生懸命頑張ってきたことが活きていると改めて思います。先生方のサポートも手厚く文武両道を目指せる環境が整っている早稲田佐賀でぜひ充実した学生生活を送ってみてください。



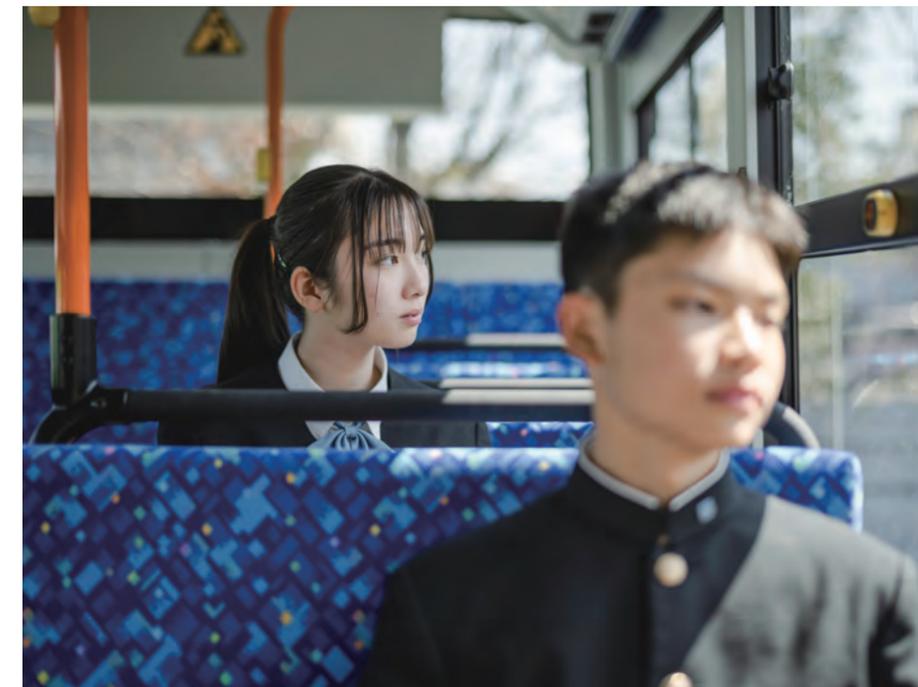
佐賀大学 医学部
医学科 卒業
佐賀大学医学部附属病院
田崎 陽さん
(2015年度卒業)
[中学校入学生]

ここでの経験が世界で生きる

私は高校4期生として入学し、生徒会長や放送部部長を務めました。親元を離れての生活は楽しく幸せな思い出ばかりではなく、日本各地から集まった価値観の異なる同級生の存在は葛藤も生みましたが、振り返ると多様なものの見方や、挑戦のために第一歩を踏み出す力を得られたのではと感じています。高校卒業後はそれらをバネに、複数の会社でインターンを経験したり、アレルギーレベルで苦手だった英語を克服し、大学院での正規留学を含め3カ国に留学したりしました。これらの挑戦は確実に私の人生の糧になっています。これらの挑戦ができたのは、高校・大学生活によって世界が広がり、様々な経験が次のステップに進む勇気を与えてくれたからだと感謝しています。早稲田佐賀には、それらに気づかせてくれる仲間や先生がたくさんいます。ぜひ多くの人に触れ、充実した学校生活を送ってください。



早稲田大学
政治経済学部 卒業
株式会社三井住友銀行
内田 佐和さん
(2015年度卒業)
[高校入学生]



Our Uniform

制服紹介

制服デザインの特徴は、早稲田の伝統である男子の詰襟。それにマッチした、女子のプリンセスラインという立体的なノーカラージャケット。シャツはドライタッチ、白でも透けない糸を使用しています。高校生の左胸の校名と刺繍とボタンホールはWASEDAカラーの臙脂、中学生は唐津の空と海を象徴するサックスブルーです。アウターはファインワール高混率で、しなやかさと軽量化を実現しながらも強度が高く、快適な着心地です。



中学校

高等学校



Message From Student Presidents

生徒の個性を 尊重してくれる学校

早稲田佐賀にはいいところがたくさんありますが、その中から3つ紹介したいと思います。1つ目は、海外研修に行きやすいシステムがあるということです。英語が必修となっているこの時代、実際に海外に行って本場の英語を浴びることは必ず将来、役に立ちます。2つ目は、自分達で行事を作れることです。早稲田佐賀は、グローバルリーダーの育成のため、生徒たちに積極性を求めます。そのため、体育祭や文化祭などの行事は生徒たちの思い通りに思い描けます。3つ目は、多才な先生方がいることです。この学校の授業はわかりやすく、高校生の分野まで入ることもあります。これぞ高校生という教え方をしてくださる先生方がおり、とても頼めます。学業でも行事でも個性が出せる早稲田佐賀で皆さんと一緒に過ごしたいです。

中学3年生 生徒会長



最高の環境で 一緒に成長できる場所

早稲田佐賀高等学校の素晴らしいところは、本校での学校生活を通して勉強や運動、たくさんの方に挑戦して、自分を磨くことができることです。また、素晴らしい友人にも恵まれ自分自身の知らない様々な分野に踏み出すきっかけを作ってくれます。本校の先生方の授業は知的好奇心をくすぐる面白い授業ばかりで、私は楽しみながら勉学に励むことができています。本校では我々受験生を手厚くサポートしてください。放課後の発展講座(数学・英語)などの勉学面だけでなく、精神的にも心の支えとなります。社会の第一線で活躍するOB、OGの話を聞く機会や部活動など、最高の環境も整えられています。新入生の皆さん、そのような早稲田佐賀で私たちと一緒に成長してみませんか。

高校3年生 生徒会長

Junior High School Curriculum

中学校教科別教育目標

国語

魅力的な人になるために

読書の習慣は当然ですが、幅広いジャンルの書籍を選ぶように指導をします。その上でプレゼンテーションの方法を考え、実践させます。自分の意見をもち、それを正しい言葉で伝える力も大切ですが、他者の言葉を「聴く力」を身につけることがもっと大切です。長い文章を書くことや、短歌・俳句の創作までしっかり指導します。また、日本の文化に誇りを持ち、伝統を感じるために古典の世界も早い段階から指導します。

数学

知的好奇心を揺さぶる授業展開で深い思考力を養成

中学校では数学を「代数分野」「幾何分野」に分けて授業を行います。いずれの分野も特に中学1・2年生の低学年時には十分に時間をかけて、じっくりと課題と向き合い、徹底して基礎力の定着を図ります。また、ノートの使い方や、予習・復習の仕方なども丁寧に指導し、学習に取り組む姿勢を学びます。中学3年生より高校課程への学習に入ります。知的好奇心を揺さぶる授業を展開し、単に公式の暗記などにとどまらない、深い思考力や豊かな表現力を養います。また自学自習の習慣を確立し、全員が取りこぼしなく、確かな基礎力を身につけることができるよう、徹底した指導を行います。

理科

潤沢な実験と観察で大学での研究の基礎を早期習得

中学校理科では教科書の内容を中心に、高校理科の基礎知識も取り入れた授業を行っています。また、物理・化学領域を1分野、生物・地学領域を2分野と分けて、より専門性のある授業を行っています。そのため、高校の授業では実践的かつ高度な学習にスムーズに入ることができます。理科として重要な考察力は、実験や観察の授業を潤沢に実施し、結果をもとに自らの答えを導き出すよう指導しています。これらを通じて、生徒一人ひとりの理科への興味と関心を深め、大学での研究の基礎が身につくように学習を進めています。

英語

英語4技能「読む・聴く・書く・話す」のバランスのとれた育成

中学校の英語では、大学での学問研究やその先の国際社会で通用するような、論理的で正確な英語力の土台作りをすることを目指しています。そのために、「読む・聴く・書く・話す」の4技能をバランスよく学習します。授業ではいずれの学年においても音読活動を重視すると同時に、ネイティブ教員による授業やオンライン英会話でマンツーマンレッスンを受ける時間を設け、生徒が英語を実際に使いながら学びを深めていきます。さらに、文化祭やオーストラリア語学研修(希望制)などの学校行事を通じて、生徒が英語をこぼとけとして使う場面を多く設定しています。

社会

国際社会で活躍する資質の基礎を培いながら「人間力」を高める授業

中学校社会科の授業では、広い視野に立って、社会に対する関心を高め、さまざまな資料に基づいて多面的・多角的に考察する力の育成を目指します。また、これからのグローバル社会で活躍する人材として、必要な判断力や意思決定力などの資質の基礎を培っていきます。そのために、生徒に対して常に「なぜ」という問いかけを行い、さまざまな社会的現象の因果関係を考えさせるようにしています。また、ビジュアル教材や資料の活用によって生徒の興味を喚起し、グループ討論や発表の機会を多くすることで、主体性やコミュニケーション力を高める取り組みをしています。グローバル社会で活躍する人材の育成を目標に、単なる学力ではない「人間力」を高める授業を目指しています。



教育課程表 2024年度

区分	中学1年生		中学2年生		中学3年生		合計		
	年間時数	週当時数	年間時数	週当時数	年間時数	週当時数	年間時数	週当時数	
必修教科	国語	175	5	175	5	175	5	525	15
	社会	140	4	140	4	140	4	420	12
	数学	175	5	175	5	210	6	560	16
	理科	140	4	140	4	140	4	420	12
	音楽	52.5	1.5	35	1	35	1	122.5	3.5
	美術	52.5	1.5	35	1	35	1	122.5	3.5
	保健体育	105	3	105	3	105	3	315	9
	技術・家庭	70	2	70	2	35	1	175	5
	外国語(英語)	175	5	210	6	210	6	595	17
	道徳	35	1	35	1	35	1	105	3
総合的な学習の時間	70	2	70	2	70	2	210	6	
特別活動	35	1	35	1	35	1	105	3	
合計	1225	35	1225	35	1225	35			

※2025年度は、教育課程表を変更する場合があります。

High School Curriculum

高等学校教科別教育目標

国語

未来を豊かな心で歩むために

昨今のネット社会の広がりで、相手を想って心を込めた手紙を認める、受け取るという機会が少なくなりました。言葉は時代と共に変化するものですが、伝統の中で生きてきた日本語で、論理的に考え表現する力を身につけます。またあらゆる文章を鑑賞する力も必須です。日々の授業は現代文、古典を深く学びますが、難関大学の受験を志す生徒にはその対策を併せて指導します。検索すれば直ぐにヒントや答えが目の前に映し出される現代ですが、本校ではプロセスを大切にして言葉を紡ぐことに重点を置いた指導を行います。

数学

徹底した演習で数学的思考力の増強を図る

どの授業も教科書の内容だけでなくプリントやICT教材等を使用し、数学に対する興味・関心が湧き、数学的思考力が身につくように工夫されています。また、教科書内容が終わり次第、入試問題を扱った演習を徹底的に行い、受験に耐える実力を養成していきます。高校3年生になると、問題演習だけでなく、志望校にあわせた添削指導を通じて更なる実力伸長を図ります。また、I類文系では、早稲田大学への進学を見据えて、数学IIIを学びます。

理科

キャリア意識の形成と論理的思考を養う

理科では高等教育との連結を考慮し、キャリア意識の形成に役立つ授業を目指しています。実験では基本実験操作を身につけると共に、実験計画とデータ解析を通じて論理的思考力を養います。また、科学と実社会の関連を知るため、学習内容の身の回りでの応用例の紹介も積極的に行います。受験対策では、各分野の核心を突く演習を通じて実践力を養成しています。研究志向の生徒には、サイエンス部での研究活動や、各科目の学カグランプリへの参加を奨励しています。

英語

入試から国際社会まで通用する論理的な英語力の養成

大学での学問研究やその先の国際社会で通用するような、論理的で正確な英語力を育成することを目指しています。語彙・文法・構文理解の指導を徹底して行い、高校2年生までに共通テストに対応できる力を、高校3年生では難関大学入試に対応できる力を育成します。通常の授業に加えて、選択制の補習授業や個別添削指導、希望制のオンライン英会話などを通して、生徒一人ひとりの英語力に応じたサポートを提供します。さらにTOEFL-ITP等、各種英語検定の受験などを通じて客観的に英語力の伸長を測り、国際社会で活躍できる人材の基礎作りを目指します。

地理歴史・公民

知識を知恵に変える力を養い未来に生きる力を育む

地歴・公民科の授業で大切にしていることは、生徒一人ひとりが「考えながら」授業を聞くことです。そのために、積極的な発言を促す発問、プロジェクトを活用し視覚に訴えるなど、生徒の学ぶ意欲を引き出す工夫を凝らしています。「考えながら」授業を受けることで、なぜ・どうしてその事象が起こったのかという分析力、自分自身の意見を他の生徒にも正確に伝える表現力などを養います。このような授業を通して、知識(学問の内容)を知恵(社会で生きる力)へと変えていきます。君たちが生きる社会ではこの知恵が重要視されます。



教育課程表 2024年度

区分	高校1年生	高校2年生		高校3年生						
		文系	理系	I類文系	I類理系	II類国文	II類私文	II類国理	II類私理	
国語	現代の国語② 言語文化③	論理国語② 文学国語② 古典探究②	論理国語② 古典探究②	論理国語② 文学国語② 古典探究②	論理国語② 古典探究②	論理国語② 文学国語② 古典探究②	論理国語② 文学国語② 古典探究②	論理国語② 古典探究②		
		地理総合② 歴史総合②	日本史探究④*1 世界史探究④ 公共②	地理探究②*1 日本史探究② 世界史探究② 公共②	日本史探究④*1 世界史探究③④ 政治・経済③*1	地理探究③*1 日本史探究③ 世界史探究③	日本史探究④*1 世界史探究③④ 政治・経済③*1	日本史探究④*1 世界史探究③④ 政治・経済③*1	地理探究①*1 日本史探究④ 世界史探究④	
数学	数学I③ 数学A③	数学II④ 数学B③	数学II④ 数学B③	数学III③ 数学C③	数学III⑤ 数学C③	数学II④ 数学C③	数学III⑤ 数学C③	数学III⑤ 数学C③	数学III⑤ 数学C③	数学III⑤ 数学C③
		物理基礎② 化学基礎② 生物基礎②	*理科特講①	物理③*1 化学④ 生物③	化学基礎② 生物基礎②	物理④*1 化学④ 生物④	化学基礎② 生物基礎②	物理④*1 化学④ 生物④	物理④*1 化学④ 生物④	物理④*1 化学④ 生物④
保健体育	体育② 保健①	体育② 保健①	体育② 保健①	体育③	体育③	体育③	体育③	体育③	体育③	体育③
芸術	音楽I② 美術I② 書道I②									
		コミュニケーション英語I③	コミュニケーション英語II④	コミュニケーション英語II④	コミュニケーション英語III④	コミュニケーション英語III④	コミュニケーション英語III④	コミュニケーション英語III④	コミュニケーション英語III④	コミュニケーション英語III④
外国語	論理・表現I② 時事英語②	論理・表現II② 時事英語②	論理・表現II②	論理・表現III②	論理・表現III②	論理・表現III②	論理・表現III②	論理・表現III②	論理・表現III②	論理・表現III②
		家庭基礎②								
情報		情報I②	情報I②							
総合的な探求の時間	①	①	①	②	②	①	①	①	①	①
ホームルーム活動	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①
履修単位合計	35	35	35	35	35	35	24	35	27	27

○★は選択する科目数を表す
 ○※は単位の履修・修得を行わない科目を表す
 ○#1世界史・日本史・数学から1科目選択、前後期で選択を実施
 ※2025年度は、教育課程表を変更する場合があります。

Think Locally Act Globally

未来を拓く力を身につける 探究学習

早稲田佐賀中学校の探究学習は、地域を知り、地球規模で行動する力を身につけるプログラムです。中学1年生では、唐津学習を実施。歴史的名所を訪れたり、マリンスポーツや溪流釣り体験などを行ったりすることで、唐津の歴史と自然を体感します。さらには、民泊体験や地域貢献活動を通じて、地元の方々と交流し、「ふるさとへの心」を肌で感じます。中学2年生では、地域調査を深めます。第二の故郷(唐津)と第一の故郷(生まれ育った地)について調べることで、課題を見つけ、その課題に対してアイデアを出し合います。また、町おこしに成功した自治体を訪問して実践的な知識や技術を学びます。中学3年生では、2年間の学びに基づき、生徒たちは自分が興味をもつテーマについて、深く探究し、卒業研究としてまとめます。また、海外の文化を肌で感じ、異文化理解やグローバルな視野を深く身につけることができるよう、中学生が参加できる海外研修プログラム(希望者)も用意しています。この経験を通じて、生徒たちは地球規模の問題について考える力を深め、自分たちが行動することで、世界に貢献することの重要性を学びます。また、学習成果は、ポスター、CM動画、英語パンフレット、卒業論文という形でまとめ、ポスターセッション、プレゼン大会や卒業研究発表会等で発表されます。探究学習を通じて、自分の興味を追求することで学ぶ楽しさを知り、様々な方法を駆使して、自分の考えを他者に伝えるスキルを磨き、自分の手で学び、自分の未来を切り拓く力を身につけることができます。このような学習を通じて、生徒たちは「地域で考え、地域で行動すること」から「地球規模で考え、地球規模で行動する」態度を養い、「グローバルリーダー」としての成長を遂げます。

Global Leadership Program



中学1・2年生

大隈重信ゆかりの地探訪

佐賀市内にある大隈重信生家や大隈重信記念館、龍泰寺などを訪ね、早稲田大学の歴史や創設への想いを学びます。この研修を通して、早稲田の一員としての自覚を高めます。



唐津体験プログラム

マリンスポーツ、溪流釣り、波止場釣り、魚さばき、たまねぎ収穫体験、佐賀牛マイバーガー作り、唐津の名物であるイカの活造りを実際に味わうことが出来る体験など本校では唐津の魅力や文化を存分に体感できるプログラムを用意しています。



中学1・2・3年生

フロンティアセミナー in WASEDA SAGA

職業講演会を実施して、様々な職種への理解を深めます。特に該当学年保護者による講話には、多数の方のご協力を得ています。さらに、外部講師として大勢の専門家を招いて、指導を受けています。



ワセクエ

ワセクエとは「学びの楽しさ」を体感する早稲田佐賀の探究活動のこと。小隈塾(リーダーシップ講座)、早稲田佐賀公式お土産プロジェクト、ようこそ先輩(卒業生との座談会)、英語で学ぶ教養講座、わくわく実験教室など、昼休みや放課後に年間100前後の講座が開催されます。ワセクエを通じて、学びの楽しさを体験すると同時に、世界が抱える社会問題に気づき、社会問題を主体的に解決するために、考動する人材の育成を目指します。



中学3年生

論理コミュニケーション

「自ら考え、それを論理的に表現して相手に効果的に伝える力」を養うことを目的として、根拠に基づき、事例をひきながら話すことを行います。これから訪れる劇的な変化の中、時代を先導する人材になるための力を身につけます。

先取り実験実習

中学生を対象に、科学的な意欲・関心を高め、中高大接続の機会を大切に、早稲田大学について理解することができます。



生徒がつくりあげる修学旅行

中学2年生時に生徒たちは、設定された条件下で修学旅行の行程案を作成し、クラス内でコンペを実施。クラス内で選ばれた企画は学年コンペへ進み、勝ち残った企画が中学3年生の修学旅行となります。異文化体験をすることで日本と違う文化や常識に触れ、違いを認識できるようになり、人間的にも大きく成長できます。



高校1年生

「明日への扉」講演会

文理選択を目前にしている高校1年生を対象に、進路選択の意識高揚を目的とした講演会を実施しています。多くの分野で活躍される方を講師として招いています。



高校1・2年生

早稲田大学学部説明会

早稲田大学全13学部の教授などが来校し、大学での学びや、その先の進路について本校の教室で話を聞くことができます。



高校2・3年生

系属校高校生特別聴講制度

早稲田大学では、高校生の学問への関心や進路決定の手助けとなるように、大学の正規授業を開放する「高校生特別聴講制度」を設けています。この制度を活用することによって、知識を習得できるだけでなく、早稲田大学に入学後、入学生部の履修基準にしたがって単位認定されます。

グローバルリーダー育成に向けての取り組み

早稲田佐賀中学校・高等学校は生徒のグローバルな視点、文化理解、人間的成長を高めることを目的としており、相互接続された世界で成長するための貴重なスキルを育成する為に役立つ、さまざまな留学プログラムを提供しています。

中学1・2年生

ネイティブスピーカーによる少人数英会話授業

英語学習の導入段階では、週1回の英語母語話者教員による授業を通して、英語でのコミュニケーションの楽しさと難しさを実感し英語学習意欲を高めるだけでなく、その後の英語学習の基礎となる音声的特徴を体系的に学習します。

中学3年生

オーストラリア語学研修(希望者)

夏季休業中に、希望者によるオーストラリアでの語学研修(10日間程度)を実施します。ホームステイ先は一般家庭で、現地の生活に触れながら実用的な英語の力を磨きます。

中・高生

アメリカ(ボストン)・ベトナム(ホーチミン)研修(希望者)

夏季休業中に、希望者による1週間程度の研修を実施します。現地学校訪問や同世代との交流を深めることで、世界には様々な考え方や価値観があると改めて認識する事ができ、国際的な視野を身に付けることが出来ます。

中・高生

オンライン英会話(希望者)

グローバル化が進む世界の中で、社会文化的背景の異なる相手に、論理的に自分の意見を伝える力はますます求められています。本校では、スピーキング指導を効果的に行うために、オンライン上での外国人講師とのマンツーマンレッスンを受講する場を希望生徒に提供しています。

中学3年生・高校1・2年生

進級留学(希望者)

学校推薦型選抜試験を利用して早稲田大学の文系学部への進学を希望する場合、1年間の留学後に遅れることなく進級し、3年間で高等学校卒業を可能にする制度です。留学先は英語圏に限らず、各種留学斡旋機関を利用するなど各自で決定します。海外では、自分の意見や意志をはっきり相手に伝えるのが基本です。自分が行きたい留学先を自分で考え、選ぶことで、自主性や積極性も育まれます。※留学決定には学力等の条件があり、それを満たす必要があります。

高校1年生

ターム留学(希望者)

国際感覚を身に付けること、英語力の向上を目的としたオーストラリアへの留学制度です。滞在期間は高校1年生の3学期(1月中旬～3月下旬)で、クイーンズランド州のなかでも教育水準の高い地域に点在する、5つの私立校のうちの1校に通学します。現地生徒と同じ学校生活を送るため、教科授業はもちろん、すべてのコミュニケーションを英語で行います。留学後は、遅れることなく高校2年生に進級することができます。

高校2・3年生

アカデミックライティング

英語学習の最終段階においては、大学のレポートや研究論文など、学術的な文書を英語で書くために必要な表現やスキルを学びます。一人ひとりの書き手に対し、英語母語話者教員が添削とフィードバックを行います。書くことを通じて総合的な英語運用力を向上させることも狙いとしています。

※行事の内容は学年や年度により異なります。

中学校

運動部

- 野球部 (軟式)
- 競走部
- サッカー部
- バスケットボール部 (男子)
- 剣道部
- 応援部 (チアリーディング)
- 弓道部

文化部

- 吹奏楽部
- 美術部
- 書道部
- 放送部
- サイエンス部
- 写真部
- ESS部

活動実績は
こちら



サークル (同好会・研究会) の創設について

学校既定の条件を満たせば
「集まりたいときに集まって、やりたいことを気軽に楽しくやる」をコンセプトに、
生徒たちの自主的かつ充実した活動を実施する事が出来る。

2023年度サークル一覧

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 広報サークル
(学校広報のサポート・学校行事の動画制作) ○ HIPHOP WSH
(MCバトルへの参加・グラフィックアートなど) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 将棋・囲碁 ○ リフレイン
(音楽の演奏、作曲、アレンジ・文化祭の有志企画への参加) |
|--|---|



高等学校

運動部

- 野球部 (硬式)
- 競走部
- テニス部
- サッカー部
- バスケットボール部
- ラグビー部
- 剣道部
- 応援部 (チアリーディング)
- 弓道部

文化部

- 吹奏楽部
- 美術部
- 書道部
- 放送部
- サイエンス部
- 写真部
- ESS部

活動実績は
こちら





入学式



修学旅行



体育祭



文化祭

本気になれる早稲田佐賀の青春。

早稲田佐賀には数多くの行事があります。学習や将来の目標をより明確にできるだけでなく、生徒同士が協力し合い親交も深めることができます。

4月

- 1学期始業式
- 入学式
- 体育祭
- 新入生研修 **中1 高1**

5月

- 大隈重信ゆかりの地探訪 **中1**
- 後援会総会
- 授業参観
- 1学期中間考査

6月

- 唐津フィールドワーク **中1**
- 佐賀県高校総体 **高1・2・3**
- 大隈重信ゆかりの地探訪 **高1**
- 1学期期末考査

7月

- 地区中体連 **中1・2・3**
- 県中体連 **中1・2・3**
- オーストラリア語学研修(希望者) **中1・2・3**
- 海外研修旅行(希望者) **中1・2・3 高1・2・3**
- 早稲田大学 学部説明会 **高1・2**
- 三者面談・1学期終業式
- 夏季演習授業 **高1・2・3**

8月

- 2学期始業式

9月

- 文化祭
- 2学期中間考査
- 滑リンピック **中2**

10月

- 大隈記念講演会
- 東京研修 **高1**
- 大学模擬講義 **高1・2**
- 修学旅行 **中3**
- 唐津体験プログラム **中1**

11月

- フロンティアセミナー **中1・2・3**
- 2学期期末考査
- 唐津くんち清掃ボランティア **中1・2・3**

12月

- 修学旅行 **高2**
- 三者面談(希望者)
- 2学期終業式

1月

- 3学期始業式
- 大学入学共通テスト **高3**
- オーストラリアアタム留学(希望者) **高1**

2月

- フロンティアセミナー **中1・2・3**

3月

- 学年末考査
- 卒業式
- クラスマッチ **高1・2**
- クリーンアップin虹の松原
- 3学期終業式
- 大隈重信100年ハイク
- 民泊体験(希望者) **中1・2・3**

※上記は例年のもので、2025年度は変更になる場合があります。※唐津体験プログラム(中学生/希望制)は適宜実施しています。

クラスマッチ



大隈記念講演会



大隈重信100年ハイク



学部説明会



新たな環境での生活

私が早稲田佐賀に入学した当初は親元を離れ、見知らぬ場所で新しい友達とうまく生活できるか心配でした。ですが、すぐに寮の部屋員やクラスメイトなど多くの仲間ができ、気付けば不安などどこにもありませんでした。また、部活動では先輩や後輩と学年を超えた交流が多くあり、先輩と後輩とも最高の関係が築き上げられました。また、私が考える早稲田佐賀の良いところは、生徒が自ら率先して課題を探し、取り組むことができるように、たくさんの仕掛けがあることです。初めは1人で解決できないことが多くありましたが、先生方に質問すると的確なアドバイスをくれたり計画と一緒に考えてくれました。勉強と部活の両立は大変ですが、私にとって最高の時間を過ごせています。これからも多くの人との繋がりを大切にしながら将来の夢に向かって学びを広げていきたいです。

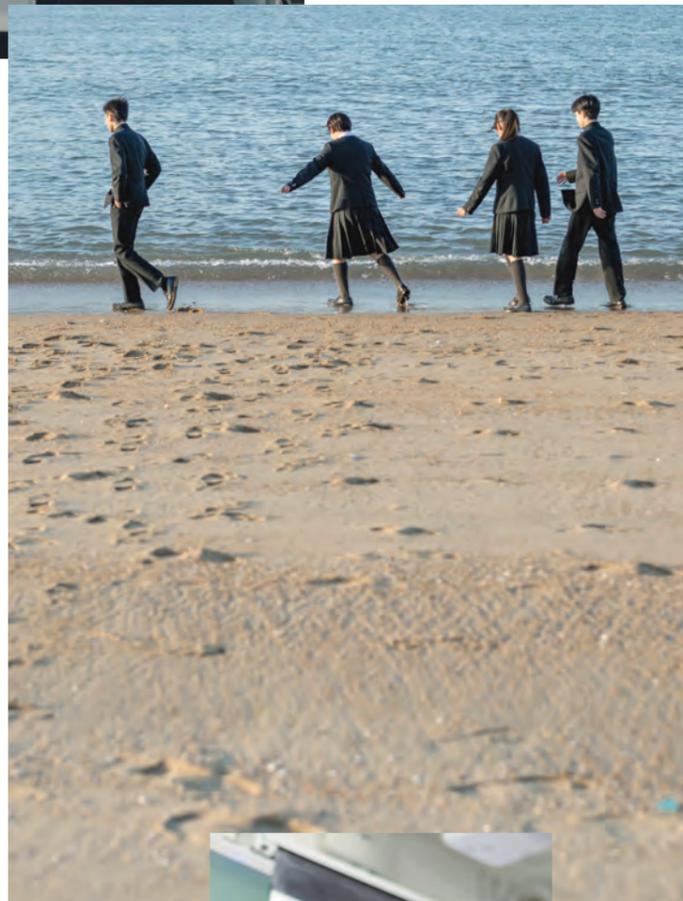
中学3年生(神奈川県出身)



視野を広く、世界へ

私が感じるこの学校の魅力は視野を広くもてること、自然と文化にあふれた環境で学べること、個性の豊かな友達がたくさんできることです。その中でも視野を広く、大きく持つことができるようになるということが最大の魅力だと思います。附設寮である八太郎館には日本国内からはもちろん、海外からも仲間が集まって生活を送っています。寮生活の中で得られる多様な考えや文化に触れることで自分以外の視点で物事を見れるようになりました。早稲田佐賀に入学する前の自分と今の自分を比べると、成長したところがたくさんあります。個性豊かな友達と勉強面でも生活面でも切磋琢磨しながら送る寮生活は毎日刺激があり、とても楽しいです。そんな貴重な毎日を送り、学んでいく中で将来のことを考え、自分の目標を見つけてそれに向かって全力で進んでいきたいと思っています。

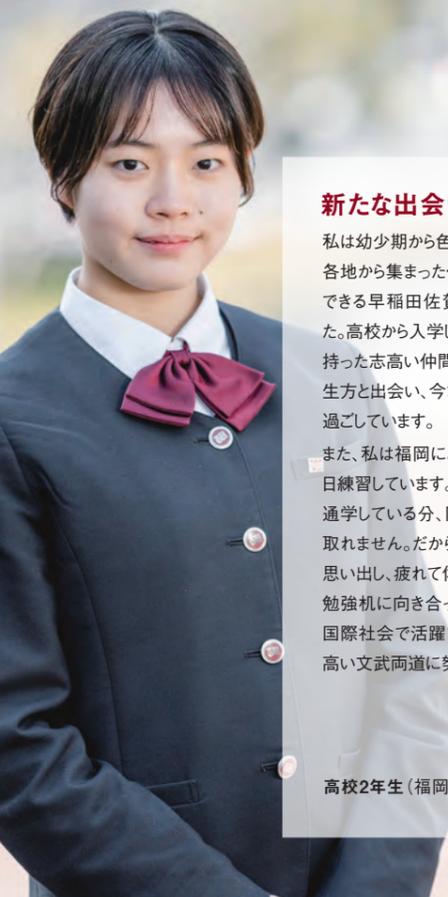
中学3年生(東京都出身)



新たな出会いを力に、世界へ

私は幼少期から色々な地域で育ったため、全国各地から集まった仲間と学校生活を送ることができる早稲田佐賀に進学することに決めました。高校から入学した私でしたが、多彩な経歴を持った志高い仲間や熱心に指導して下さる先生方と出会い、今までにないほど充実した日々を過ごしています。また、私は福岡にある水泳のクラブチームで毎日練習しています。片道1時間30分以上かけて通学している分、同級生よりも学習時間を長く取れません。だからこそ必死に努力する仲間を思い出し、疲れて体を休ませたいと思っても毎日勉強機に向き合っています。九州から世界へ。国際社会で活躍できるリーダーを目指し、質の高い文武両道に努めます。

高校2年生(福岡県出身)



たくさんの繋がりを持てる場所

私が感じる早稲田佐賀の一番の魅力は様々な出身地の人と繋がりを持てることです。ここには日本全国から高みを目指す生徒が集まってきます。入学した当初はそれぞれが自分の出身地の方言を喋っていたのでとても面白く、多様な考えに触れることで強い刺激を受けました。また同級生だけでなく、部活動や学校行事を通して先輩や後輩との繋がりを持つこともできます。私は福岡市内から電車で通学していますが、行きはテスト勉強や授業の予習、帰りは唐津湾に浮かぶ美しい夕日を見ながら友人と談笑したりと、とても充実した時間を過ごすことができている。長い通学時間だからこそ、何をやるのかメリハリをつけ、時間を有効に活用する力を身に付けることができたと感じています。

高校2年生(福岡県出身)



はち た ろ う 附設寮八太郎館

「八太郎館」は、大隈重信の幼名「八太郎」にちなんで名付けられました。

本校は学校と寮は一体であるべきと捉えて運営をしており、開校と同時に八太郎館も開寮しました。

15年目を迎え寮生も中高合わせて690名を超え、さまざまな運営の工夫を図っています。

わずか12歳・15歳で寮生活を決意する寮生たちに対して、一人ひとりが健全で明朗に成長し、

更に効率よく学力が伸びていくよう、全スタッフ、全教員の目と心で対応していきます。

本寮で成長した寮生たちが、将来我が国をリードし、世界で活躍できる人材になることを願っています。



万全なセキュリティ対策で、「安全」を約束します。

定員が約900名の八太郎館は、中学生、高校生が非常に広い空間の中で生活しています。そのため、夜間はガードマン2名体制で警備しています。また、生活時間帯は男性、女性の寮主任教員も寮内巡回をして寮生たちの様子を観察・指導しています。さらに、男性2名、女性1名の教員が宿泊し、緊急の事態に対応できるようにしています。何より寮長・寮母とスタッフは、寮生一人ひとりの名前、学年、出身、個性、健康状態までしっかり把握して、常に明るく優しく愛情を持って寮生とのコミュニケーションを図っています。

保護者向け情報発信



本校が導入している教育プラットフォーム「Classi」を活用し、毎月の献立表や、お知らせ、寮生の様子、寮の行事のオンラインアルバム等が閲覧できます。遠く離れた保護者の方の多くがClassiを開いて、寮からの情報を楽しみにされています。



24時間館内外をチェック。

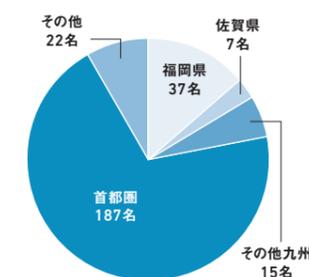


全員システムカードキーを携帯し、部外者は侵入できません。

スタッフメッセージはこちら

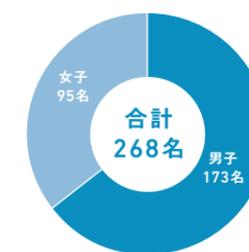


中学生 エリア別寮生出身地

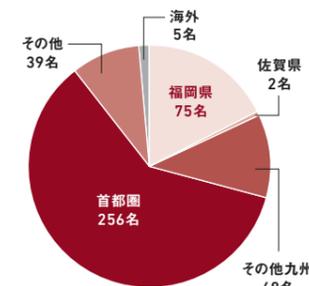


中学生 寮生構成

【男子】1年生:65名/2年生:59名/3年生:49名
【女子】1年生:30名/2年生:34名/3年生:31名

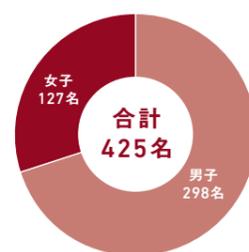


高校生 エリア別寮生出身地



高校生 寮生構成

【男子】1年生:107名/2年生:99名/3年生:92名
【女子】1年生:37名/2年生:39名/3年生:51名



※情報は、2024年5月現在のものです。



寮での学習

生徒の本分は「学ぶこと」です。八太郎館では、自学自習を原則とし、日々計画的、主体的に取り組むよう指導しています。そのためには、今日自分は何をどこまで、どれだけこなさなければならないかを冷静に分析して、計画を立てることから始まります。学校や学習塾のように、予め決まっていた内容を、誰かが事前に用意しているような環境はここにはありません。また、それぞれの教科から出される課題を消化するだけでなく、授業と課題を結びつけて自主的に吸収し、定着させていく必要があります。学習室では指定されたブースがありますが、教材が常に整理整頓され、集中できる環境を保つことも勉強の一部です。つまり、自己管理能力が大切だということです。その環境の中で集中して学習に取り組んでいけば、必ず成果が上がるでしょう。



中学校日課表	
●日課は学校行事等により変更になることがあります。	
●リフレッシュタイムの21:30で携帯電話を預かります。	
5:30~	朝学習(希望者)
7:00	起床
7:20	点呼(3年生)
7:20~8:10	朝食・登校準備(3年生)
7:30	点呼(1・2年生)
7:30~8:20	朝食・登校準備(1・2年生)
8:40	登校完了
学校生活	
16:20~19:15	入浴
17:30~19:15	夕食
17:45	完全下校時刻
18:20	門限
19:30~21:00	全体学習①
21:00~21:35	リフレッシュタイム
21:35~22:30	全体学習②・点呼
22:45	消灯・就寝

高校日課表	
●日課は学校行事等により変更になることがあります。	
●リフレッシュタイムの21:45で携帯電話を預かります。	
5:30~	朝学習(希望者)
6:50	起床(2・3年生)
6:50	起床(1年生)
7:00	点呼・朝食・登校準備(2・3年生)
7:20	点呼(1年生)
7:20~8:10	朝食・登校準備(1年生)
8:30	登校完了
学校生活	
16:20~19:55	入浴
17:30~20:25	夕食
18:30	完全下校時刻
19:00	門限
20:30~21:15	全体学習①・点呼
21:15~21:45	リフレッシュタイム
21:50~22:50	全体学習②(1~3年生)
23:00	消灯・就寝
~23:55	延長学習(1~3年生)



個室学習

高校2年生からは個室となり、学習は各自の居室にて行います。大学進学へ向けての高校学習内容は、じっくりと考え深く追求する姿勢が必要となります。落ち着いた空間の中で確保された学習時間は、本校生徒にとって必要不可欠なものとなっています。

寮での食事

山海の幸に恵まれた、地元唐津産の新鮮な食材も利用し、安全で美味しい食事を一人ひとりに提供しています。日々の食事の大切さに興味を持って美味しく食事してもらうために、ハロウィンやクリスマス、バレンタインデーやホワイトデーなどイベントでの特別メニューをはじめ、食育講座などのイベント開催や毎月の食記念日にまつわるメニューを提供しています。また、食堂では寮生からアンケートを取り、人気投票によってメインメニューを決定するなど、大切な食事の時間をもっと楽しんでもらえるよう、サービスの改善にも積極的に取り組んでいます。もしもの体調不良の際には、代替食(うどん・おかゆ)を提供し、成長過程にある寮生たちの「食」を全力でサポートします。



ランチボックス

栄養バランスが整ったメニューで、ボリュームもたっぷり!



寮生の昼食は、寮のキッチンで調理されたものが学校に届けられます。毎日バラエティに富んだお弁当です。また、自宅通学生も申し込めば利用できます。

献立について

寮生が楽しみにしている献立表。管理栄養士による栄養バランスとカロリーが計算されたメニューが自慢です。日々3食の献立表は、毎月Classiで各家庭にお知らせします。



献立情報

※個別のアレルギー対応や成分表示はいたしていません。



寮生からのメッセージ

一生活きる経験ができる場所

私は八太郎館で寮生活をしていてよかったと思うことが3つあります。1つ目は通学時間が短いということです。私は応援部に所属していますが、学校と寮が近いので登下校の時間が短く、時間の節約になり、学業と両立できています。2つ目は集団生活においての人の関わり方を学べたということです。実際に、学校の海外研修プログラムでニュージーランドに留学し、ホームステイをした際、他人への配慮という点でこの力が活きたと思います。3つ目は友達と仲を深めることができるということです。寮生活は学習時間や睡眠以外は基本的に友達と過ごします。休日は一緒に出かけることもあり、友達と仲を深めることができます。衝突することもあります。他人の価値観を知り、成長できる良い経験となっています。



中学3年生
熊本県出身

人生の中での貴重な経験

私は、八太郎館に入寮して5年目になります。入寮してからしばらくの間は親元を離れて過ごすことや慣れない生活への不安で押し潰されそうになりました。しかし、そのようなことは最初の一瞬だけです。早稲田佐賀は全国のたくさんの地域から人が集まっており皆十人十色です。そんな学校の寮で私は、さまざまな地域の人達と関わることができ、今となっては毎日楽しく寮生活を送っています。また、寮生活は集団で生活をするので毎日規則正しいスケジュールの中で生活します。その中で、学習時間もしっかり確保されているので部活をしても学習との両立をすることができます。



高校2年生
千葉県出身

キャリア学習会in八太郎館

1～2ヶ月に1回、希望者に向けて卒業生による学部説明や職業説明を実施しています。夜間にオンラインで実施するため寮生だけでなく、自宅生も参加することができます。大学の学びを尋ねたり、就職活動の様子や実際の職業の内容を聞いたりできるため、貴重な学びの場になっています。

【これまでの主な講演者】

- ・早稲田大学法学部卒業 弁護士
- ・早稲田大学商学部卒業 公認会計士
- ・早稲田大学国際教養学部卒業 編集者
- ・早稲田大学創造理工学部建築学科卒業 建築士 など



寮でのイベント

八太郎館では、年間を通してさまざまな行事を計画しています。そのほとんどが寮の生徒会「八太郎会」のメンバーによって運営されています。

イベント年間カレンダー（予定）

4月 ●入寮オリエンテーション

5月 ●溪流釣り体験（希望者）

6月 ●ホテル観賞会（希望者）

なんと写真に収めようとする生徒や、初めて見るホテルを目に焼き付けている生徒もいました。観賞中のマナーもしっかり守り楽しんでいます。幻想的な光をこれからも守っていくために、自然を守る意識を持ってもらいたいと願う企画です。



●玉ねぎ収穫体験（希望者）

7月 ●夏まつり

夏休みを目前に控えた休日、女子は浴衣姿になって夏のひとときを楽しみます。初めての体験で感激する生徒も多い大人気のイベントです。



●花火鑑賞（希望者）
●サッカー観戦（希望者）

9月 ●野球観戦（希望者）

10月 ●スポーツレクリエーション（希望者）
●バスハイク（希望者）

11月 ●唐津くんち清掃ボランティア

●紅葉狩り（希望者）
●大相撲観戦（希望者）

12月 ●八太郎祭

年末に行われる餅つき大会とクリスマス会のイベントです。餅つき、ビンゴ、レクリエーションをみんなで楽しみ、餅つきはつきたてのお餅を味わえる大人気のイベントです。



1月 ●西の浜瞑想体験（希望者）

2月 ●卒寮パーティ
●星空鑑賞会（希望者）

3月 ●民泊体験（希望者）

海・山・川・棚田など自然の名所がたくさんある唐津。日頃の生活では、なかなか触れることのできない「唐津の魅力」を民泊体験を通して、体験できる機会となっています。釣りをしたり、魚を捌いたり、そのほか日頃できない貴重な体験を民泊先の方のご協力のもと体験できます。



施設紹介



4人部屋（男女共通仕様）



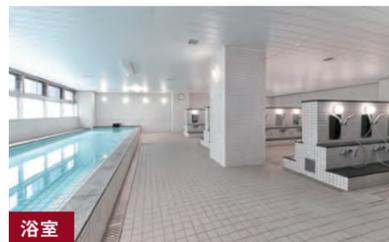
ラウンジ



食堂



個室（男女共通仕様）



浴室



保健室



シャワールーム



管理事務室



ランドリー室



4人部屋
男女共通仕様 女子仕様



個室
男女共通仕様 女子仕様



浴室
浴室（男子） 脱衣所（男子）



食堂



エントランス
（男子）

※QRコードを読み込むと、360度の映像で施設をご覧いただけます。



虹の松原

唐津湾沿いに全長約4.5km、幅約500mにわたって、虹の弧のように連なる松原。唐津藩初代藩主、寺沢志摩守広高が、防風・防潮林として植林し、その数は約100万本とされています。日本三大松原の一つで、国の特別名勝に指定。素晴らしい景観を保全するため、本校の生徒たちも地域ボランティアの一環として清掃活動に参加しています。



西の浜

本校や唐津城に隣接している、玄界灘の鳥々が目の前に広がる景色の良いビーチです。最近SUP（スタンドアップパドル）を楽しむ人でにぎわい、本校の生徒も楽しんでいます。



唐津城

本校の生徒たちを見守るようにそびえたつ唐津城。豊臣秀吉の家臣、寺沢広高が、1602（慶長7）年から7年の歳月をかけて築城しました。展望所からは、唐津の雄大な景観が一望できます。



旧唐津銀行「辰野金吾記念館」

城下町の風情漂う唐津のまちなかに、優雅に佇む旧唐津銀行。東京駅を設計した唐津出身の建築家、辰野金吾の監修で、1912（明治45）年に竣工。現在は地域情報の発信の場として活用されています。



唐津くんち

毎年11月2・3・4日の3日間にわたって開催される唐津神社の例大祭。2016年には、ユネスコ無形文化遺産に登録。「エンヤ、エンヤ」「ヨイサ、ヨイサ」のかけ声で、大きな曳山（ヤマ）が唐津のまちを駆け抜ける勇壮なお祭りです。「赤獅子」「鯛」「鯉」など、14台の曳山がずらりと並んだ光景は、まるで極彩色の絵巻のよう。八太郎館の前は曳山の巡行ルートで、祭りの盛り上がりを見守って楽しめます。



旧高取邸

1905（明治38）年に建てられた、炭鉱王・高取伊好の邸宅です。和風を基調としながらも、洋館が併設されるなど近代和風建築の素晴らしさを随所に堪能できます。



名護屋城跡

豊臣秀吉の「文禄・慶長の役」で、出兵拠点として築かれたのが名護屋城です。徳川家康や伊達政宗など全国から諸大名が集まり、城周辺には130以上の陣跡が点在しています。

写真提供：唐津市



福岡市からも 佐賀市からもアクセス可 本校の約4割が自宅通学生。

福岡市は九州のみならず近年アジアの玄関口として大きな発展を遂げています。
その中心地である博多・天神より公共交通機関の利用で約80分で本校に通学できます。
九州大学も移転して急速な発展を見せている福岡市西部地区のすぐ隣です。



※1. 高校生は唐津駅から本校までの自転車利用が可能です。 ※2. 校舎正門への停車は朝のみとなります。唐津バスセンターからは徒歩で約10分です。



入試情報

2025年度 中学校入試概要

【募集人員】120名(各入試区分合計)

新思考入学試験(12月入試)

【募集形態】専願・併願
【試験日】2024年12月8日(日)
【試験会場】唐津(本校)・首都圏
【合格発表】2024年12月13日(金)

新思考入学試験(帰国生入試)

【募集形態】専願・併願
【試験日】2024年12月8日(日)
【試験会場】唐津(本校)・首都圏
【合格発表】2024年12月13日(金)

一般入学試験(1月入試)

【募集形態】専願・併願
【試験日】2025年1月13日(月・祝)
【試験会場】唐津(本校)・佐賀・福岡・北九州・熊本・鹿児島・首都圏
【合格発表】2025年1月18日(土)

一般入学試験(2月入試)

【募集形態】併願
【試験日】2025年2月5日(水)
【試験会場】唐津(本校)・首都圏
【合格発表】2025年2月6日(木)

【入試結果】

	2024年度	2023年度	2022年度
志願者数	1,547名	1,353名	1,496名
合格者数	893名	866名	822名
入学者数	136名	143名	143名
男女別	男：89名 女：47名	男：85名 女：58名	男：92名 女：51名

※出願にあたっては、2024年秋に発行する募集要項を必ずご確認ください。

2025年度 高等学校入試概要

【募集人員】120名(各入試区分合計)

推薦入学試験

【募集区分】学力系・体育系(野球)・芸術系(吹奏楽)・S選抜(生徒会活動・英検・数検等)・帰国生
【募集形態】専願
【試験日】2024年12月14日(土)
【試験会場】唐津(本校)
【合格発表】2024年12月17日(火)

帰国生入学試験(第1回)

【募集形態】専願・併願
【試験日】2024年12月14日(土)
【試験会場】唐津(本校)
【合格発表】2024年12月17日(火)

一般入学試験(1月入試)

【募集形態】専願(5教科:本校/3教科:首都圏)・併願
【試験日】2025年1月12日(日)
【試験会場】唐津(本校)・佐賀・福岡・北九州・熊本・鹿児島・首都圏
【合格発表】2025年1月17日(金)

帰国生入学試験(第2回)

【募集形態】専願・併願
【試験日】2025年1月12日(日)
【試験会場】唐津(本校)・首都圏
【合格発表】2025年1月17日(金)

一般入学試験(2月入試)

【募集形態】併願
【試験日】2025年2月15日(土)
【試験会場】唐津(本校)・首都圏
【合格発表】2025年2月17日(月)

【入試結果】

	2024年度	2023年度	2022年度
志願者数	1,712名	1,599名	1,567名
合格者数	1,179名	1,129名	1,076名
入学者数	105名	133名	120名
男女別	男：74名 女：31名	男：94名 女：39名	男：79名 女：41名

学費等情報・学校説明会

中学校

学費 参考：2024年度 ※単位：円

	授業料	施設設備費等	教育充実費	合計
前期	262,200	153,000	55,000	470,200
後期	262,200	153,000	—	415,200
計	524,400	306,000	55,000	885,400

※左記の経費以外に制服・体操服代等及び諸費(約6万円)、生徒会費、部活振興費、後援会費が必要となります。
 ※入学時に入学金として11万円が必要となります。
 ※経済情勢の変化により学費・寮生活等が改定されることがあります。

寮費 (2024年度) ※単位：円

入寮費	寮費(中学4人部屋)	食費	八太郎会費
入寮時 150,000	年額 504,000	年額 555,500	年額 5,000

生徒寄付金 (入学後)

1口 100,000円
2口以上(任意)

高等学校

学費 参考：2024年度 ※単位：円

	授業料	施設設備費等	教育充実費	合計
前期	262,200	153,000	55,000	470,200
後期	262,200	153,000	—	415,200
計	524,400	306,000	55,000	885,400

※上記の経費以外に制服・体操服代等及び諸費(約5万円)、研修費等の実費(約10万円)、生徒会費、部活振興費、後援会費が必要となります。
 ※入学時に入学金として11万円が必要となります。
 ※経済情勢の変化により学費・寮生活等が改定されることがあります。

寮費 (2024年度) ※単位：円

入寮費	寮費(高校4人部屋)	食費	八太郎会費
入寮時 150,000	年額 474,000	年額 555,500	年額 5,000

生徒寄付金 (入学後)

1口 100,000円
1口以上(任意)

中学校 在校生出身校所在地 [在学学生396名]

※2024年5月現在

九州・中国・四国エリア

福岡県 124名	熊本県 12名	岡山県 1名
佐賀県 28名	鹿児島県 5名	広島県 3名
長崎県 6名	沖縄県 1名	山口県 4名
大分県 3名		

首都圏エリア他

北海道 1名	千葉県 19名	京都府 2名
宮城県 1名	埼玉県 10名	奈良県 1名
山形県 1名	長野県 1名	大阪府 1名
東京都 136名	愛知県 5名	兵庫県 2名
神奈川県 29名		

高等学校 在校生出身校所在地 [在学学生668名]

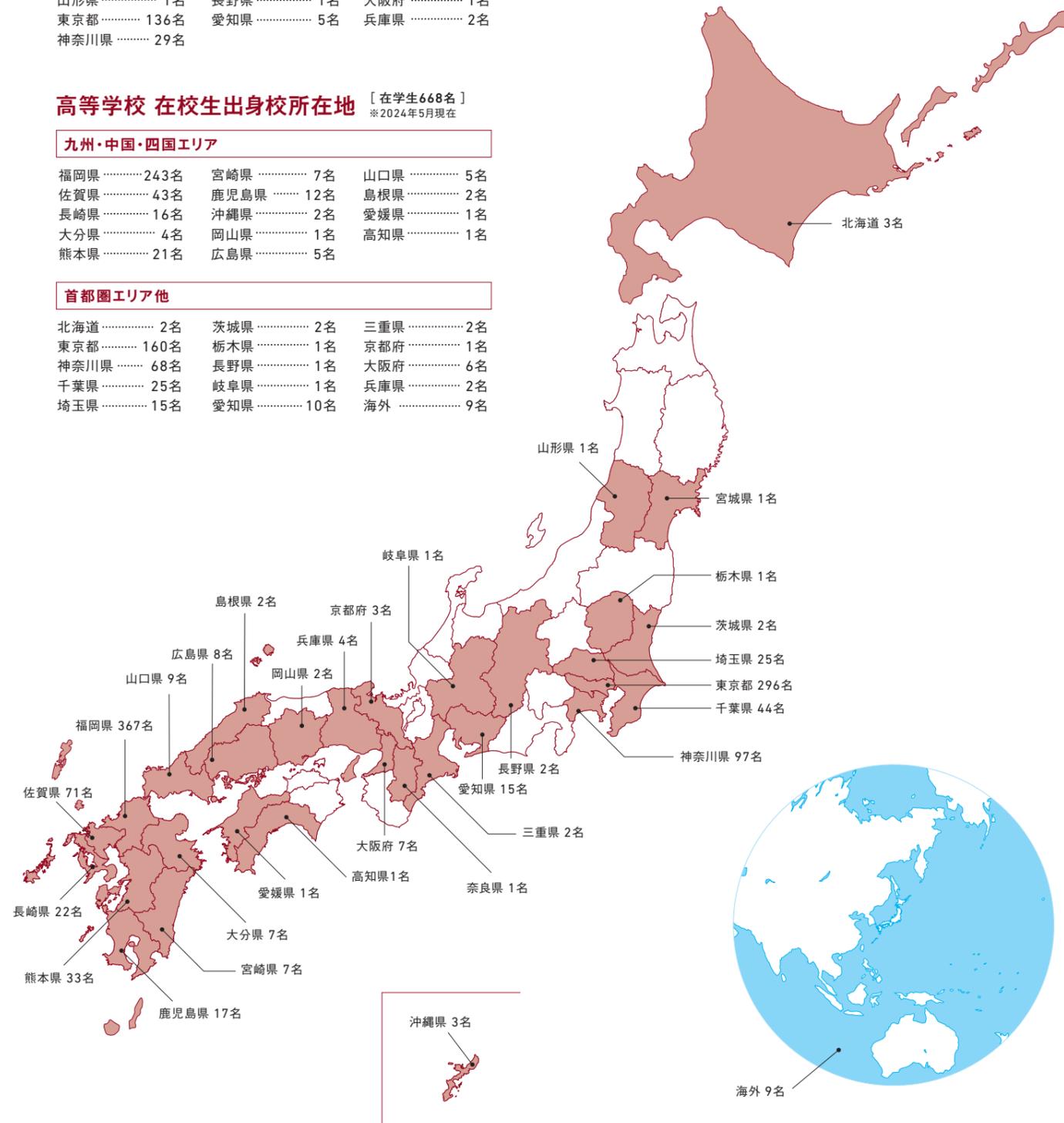
※2024年5月現在

九州・中国・四国エリア

福岡県 243名	宮崎県 7名	山口県 5名
佐賀県 43名	鹿児島県 12名	島根県 2名
長崎県 16名	沖縄県 2名	愛媛県 1名
大分県 4名	岡山県 1名	高知県 1名
熊本県 21名	広島県 5名	

首都圏エリア他

北海道 2名	茨城県 2名	三重県 2名
東京都 160名	栃木県 1名	京都府 1名
神奈川県 68名	長野県 1名	大阪府 6名
千葉県 25名	岐阜県 1名	兵庫県 2名
埼玉県 15名	愛知県 10名	海外 9名



早稲田大学進学時の奨学制度

大学入学前に申し込む首都圏以外の受験生のための奨学金

めざせ!都の西北奨学金

注1:本校の生徒は、学校の所在地、世帯収入以外の条件があります。

支給額 450,000円～700,000円

○2021年度から本校は「めざせ!都の西北奨学金」の対象校となりました。
 ○詳しい申請資格は、募集要項で確認してください。募集要項は、7月以降に大学ならびに奨学課のホームページに掲載されます。

<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>

学校説明会 [Web申込]

オープンスクール

中学オープンスクール

6/15(土) [唐津市/本校] 10:00-

高校オープンスクール

8/24(土) [唐津市/本校] 10:00-

学校・寮見学会

7/28(日) [唐津市/本校]

中学 | 9:00 - 第1回目
12:00 - 第2回目

高校 | 10:30 - 第1回目
13:30 - 第2回目

学校説明会

6/29(土) [横浜市] 中高14:00-

6/30(日) [早稲田大学] 中11:00- 高14:00-

7/6(土) [佐賀市] 中高10:00-
[鹿児島市] 中高14:00-

7/7(日) [熊本市] 中高10:00-
[長崎市] 中高10:00-
[宮崎市] 中高10:00-

入試説明会

10/20(日) [唐津市/本校]

中学 | 10:00 -
高校 | 14:00 -

10/27(日) [早稲田大学]

中学 | 10:00 -
高校 | 14:00 -

早稲田佐賀オンライン個別相談会実施! 参加には事前予約が必要です
 本校ウェブサイトからお申込ください。

